



▶津久田人形櫻座300年祭の開催を祝してあいさつ

新型コロナウイルス感染症が、インフルエンザと同じ扱いになり、半年がたちます。コロナ禍を乗り越えて、ようやく日常生活が戻りつつあります。今年の秋は、体育祭、文化祭、産業祭、ふるさと祭



り、敬老会などが一斉に復活しました。4年ぶりに再開した行事が多く、準備に携わった関係者の皆さんは、大変だったと思います。たくさんさんの会場を見せてもらいましたが、どこに行っても、笑顔があふれていました。コロナで空白があっても、こうして行事を再開できるエネルギーが地域にあることは、すごいと思います。

中でも、久しぶりに復活した「津久田人形櫻座生誕300年祭」は圧巻でした。津久田人形は、戦争や後継者不足で中断と再開を繰り返しながらも、地域の人たちの熱意で伝統をつないできました。そして、今回新たに、津久田小学校校人形クラブの児童が参加して「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」を見事に演じました。見ていた多くの人が感動し、おひねりが飛び交いました。私も目頭が熱くなりました。

こうした伝統行事やイベントは、平和で安心して暮らせる社会でなければ続けることはできません。そのことを実感できた今年の秋は、「特別な秋」です。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 (TEL 253215)

美術の小窓

《永遠 ペガサス》

三谷 慎 作

1993年

縦62cm×横35cm

素材:紙、水彩、木炭



三谷慎(1953-)は、石川県生まれの彫刻家です。東京造形大学で彫刻家・佐藤忠良に師事し、1976年に卒業した後、イタリアへ留学しました。帰国後の1985年からは、群馬でアトリエを構え、現在も精力的に創作活動を続けています。近年は、ブロンズ鑄造作品とは思えないほどの繊細な表現で、小ぶりのレリーフ作品を中心に制作しています。

本作は、市武道館に展示されているレリーフ作品のためのドローイングで、ギリシャ神話を題材に制作された五連作の内の1点です。11月26日(日)まで市役所第二庁舎1階回廊の北東の壁面で展示しています。

食欲・読書・スポーツなど…ぜひ、本作をきっかけにさまざまな『秋』をお楽しみください。

●市美術館は、移転のため休館しています

地域おこし
協力隊

長沼隊員の
おすすめスポット

— Vol.32 —



こんにちは！今年も残すところ2カ月となりました。今月は、この時期といえはの紅葉スポットをご紹介します！伊香保温泉にある河鹿橋です！テレビや新聞などでも取り上げられていますが、実は行ったことがないという人が多いのではないのでしょうか。

風情のある朱色の橋と紅葉のコラボレーションは最高です。夜はライトアップされているので、昼間とはまた違った雰囲気を楽しむことができます。今年も、ぜひ、河鹿橋の紅葉を見に行ってみてくださいね！



▲協力隊のSNSはこちら

